

※ 今週のアウトルック(9/20~9/23)

先週は先々週の米国CPI発表を要因とする上昇からの調整が入った形となり、横ばいからある程度下降となった通貨ペアが多かったようです。

今週は調整色がメインだった流れから、再びドル高円安への流れへと変わっていくのかをまずは確認したいところです。

先週のドル円は、143円付近での小刻みな動きとなり、方向感が見いだせない状態が続きました。

今週は今後の米国利上げ状況が読めない中、どの程度までドル買いが進むのか、あるいはそろそろドル買いは休止へと向かうのか、そのあたりの読みあいとなる可能性が高そうです。

145円を超えられれば、150円まで進む可能性は十分ありそうです。

ドル円の予想レンジは140円から150円です。

先週のユーロ円もほぼ横ばい状態が続きました。ユーロドルもバリエティ付近での攻防が続いています。

今週は、どちらかに抜けることができれば150円、あるいは140円付近まで進む可能性はありそうですが、材料が不足している中、影響力のある要人発言などが無い限り、動きづらい状況がしばらく続きそうです。

ユーロ円の予想レンジは140円から150円です。

ポンドは、ポンドドルの下げ止まり感が見いだせず、ポンド円の下落が続いています。

このままポンドドルが下げ止まらなければ、ポンド円も160円付近まで下落してしまう可能性が高そうです。

ポンド円の予想レンジは160円から165円です。

いささかドル高円安の流れに陰りが出ている気配もあります。NYダウ下落に対する警戒感など、市場の関心はインフレ抑制から今後の景気動向に移ってきているのかもしれませんが。

* 免責事項 *

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。